

平成21年度農林水産物等海外販路創出・拡大委託事業
国産材海外展示商談活動

Kyunghyang Housing Fair 2010

JAPAN PAVILION

キョンヒャンハウジングフェア

農林水産省日本国産材パビリオン

運営実施報告書

2010年 3月

株式会社 ジェイコム

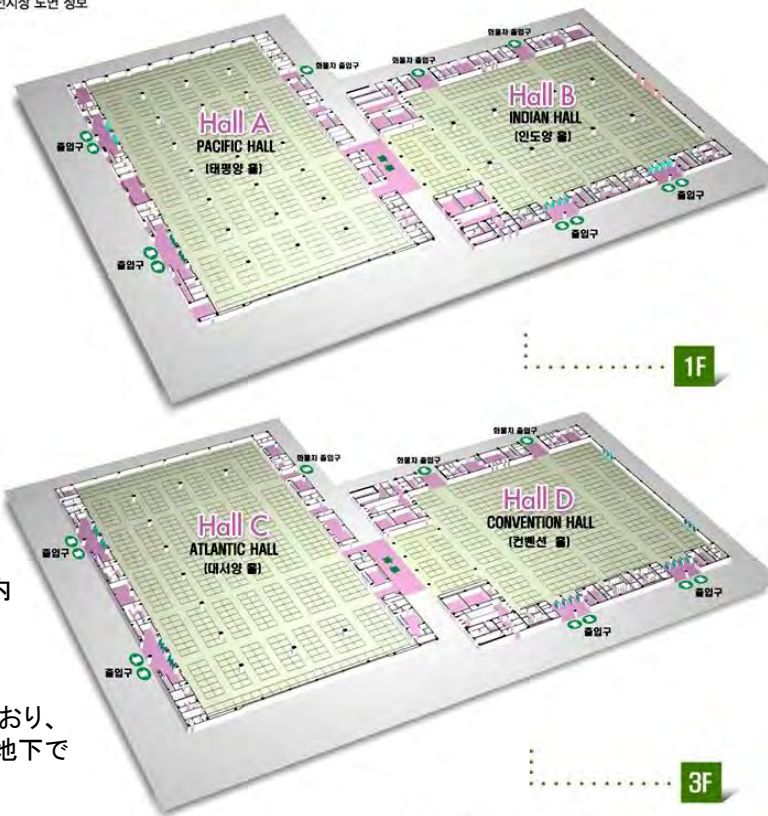
01 フェア開催概要

会場

会場(COEX)外観



● 전시장 도면 정보



* 보 보스 | auna은 보스구다 출품품목에 따라 변경될 수 있음

コエックス展示場

(COEXはConvention & Exhibitionの略)

韓国を代表する大型展示会場で、ソウル市内の江南区三成洞地区に位置する。南側の本館と北側の新館があり、1~4階に展示施設・会議施設がある。コエックスはホテル、デパートなども隣接しており、床面積で韓国最大となるコエックスモールと地下で連絡している商業文化複合施設である。

日本パビリオンの全景です。135㎡(昨年72㎡)を全て出展展示ブースとし13団体が出展しました。韓国主催者の配慮で関連イベント(商談会・セミナー会)同会場内に別途設けました。



01 フェア開催概要

開催概要

フェア結果概要:主催者取材

■開催場所:COEX展示場

■会 期:2010年2月20日(土)~24日(水)

■主 催:理想ネットワークス(キョンヒャン新聞グループ)

■会場規模:35,287㎡

(A・B・C=国産材パビリオン設置・Dの4HALL合計)

■出展者数:約550社(2010年実績=主催者へ電話取材)

ナショナルパビリオン出展は日本・中国・カナダの3カ国でした。

■来場者数:15万人

(1日平均2万人の来場の模様で会期5日間でした=20~21日は2万人超の模様で23~24日は1万数千人の模様です)

■特 徴:木材及び木造住宅はHALL-C(日本PAVILION設置場所)に集結した形となりました。住宅の総合見本市で水周り製品から外装エクステリア等多岐にわたるメーカーが出展しました。韓国で最大規模の展示会で出展者は昨年比30%近く増加しました。

来年度も開催予定です。

会期は2月下旬(2月25日~3月1日)、会場はKINTEXで開催予定です。

パビリオンレイアウト

A~Iの小間に13出展者がブース出展をしました。パビリオン入口には本展示会のテーマ韓国での住宅建設をととして国産材の韓国輸出を促進する為、プレカット住宅モデルと商談コーナーを設置しました。



i図



出展参加者リスト(東北から九州まで13社の出展でした)

ブース No.	登録 No.		企業名
A	1	福島	株式会社赤井製材所
G	2	群馬	山岸工務店
B	3	静岡	株式会社新栄
	4	静岡	ウッドワイステクノロジー株式会社
A	5	愛知	夢木香株式会社
F	6	奈良	吉野銘木製造販売株式会社
D	7	奈良	株式会社徳田銘木
H	8	鳥取	C・O・M・O・R・E・B・I株式会社
E	9	熊本	肥後木材株式会社
C	10	福岡	株式会社マルキ開発
I	11	宮崎	ランバー宮崎協同組合
	12	宮崎	ウッドエナジー協同組合
	13	宮崎	吉田産業合資会社

赤井製材所(福島県)

大断面の部材及びいわき地区の木材紹介ブース

夢木香(愛知県)

ヒノキログハウスモデルルームの出展で人気を博しました。



出展参加者・出展ブースの様様

02 日本パビリオンの出展者

山岸工務店(群馬県)

珪藻土の壁を通じて健康・快適住宅をアピールされました。国内では群馬産木材の家を販売されています。韓国に合った住宅設計をアピールされました。



ウッドワイステクノロジー(静岡県)

国産材を使った在来工法住宅を「ロケット工法」で効率的に建設する訴求は中国・韓国で知名度があり、モデルハウスの建設も決定し、韓国での住宅建設の本格化を目指されています。

株式会社新栄(静岡県)

壁面にスギの羽目板を施工してスギの内装材を強くアピールされました。積極的な商談で成果を挙げられました。



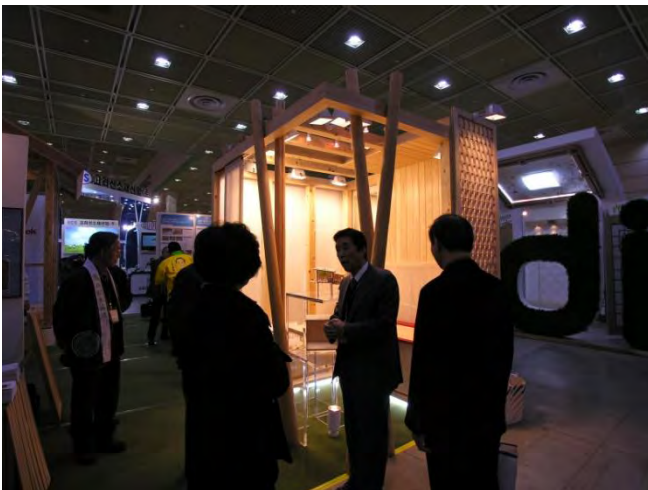


吉野銘木製造販売(奈良県)

吉野のスギ・ヒノキを使った内装材及び地域の取り纏め業者として、広く吉野地区木材のアピールをされました。昨年からの出展でヒノキ材の輸出実績もあります。

コモレビ(鳥取県)

ヒノキでの住空間を再現されました。特別照明を配し、周囲から浮かび上がったイメージとなり、多くに来展者へアピールされました。



徳田銘木(奈良県)

出展決定と共に現地での販売代理店を設置し、販売体制を整備し臨まれました。「自然木」は韓国の来場者の人気を博しました。



出展参加者・出展ブースの様様

02 日本パビリオンの出展者



マルキ開発(福岡県)

韓国谷川・谷川建設グループが連携し新規住宅着工物件の獲得を目指されました。韓国進出以来1年で4棟の在来工法住宅の建設実績があります。

肥後木材(熊本県)

熊本県産材を中心に丸太から製品迄広く商談をされました。今回は特に大断面部材を展示し物件獲得を目指されました。

ランバー宮崎・ウッドエナジー・吉田産業(宮崎県)

製材(吉田産業)木材加工・集成(ウッドエナジー)プレカット・施工(ランバー宮崎)と、チーム宮崎として韓国での先駆者として販促活動されました。



02 日本パビリオンの出展者

出展参加に加え、事前の下記の視察参加の登録があり、会場へのフリーパス及びセミナー案内及びレジメ配布をいたしました。



又日本・韓国より、パビリオンには多くの関係者が来展され人出の絶えないパビリオンとなりました。

No.		企業名
1	5名	岐阜県木材協同組合連合会
2	7名	鳥取県木材協同組合連合会
3	2名	熊本県木材事業協同組合連合会
4	17名	宮崎県育林推進協会
5	3名	日田市林業木材産業振興課
6	9名	エムエフジー株式会社
7	4名	宮崎県環境森林部
8	1名	金子製材株式会社
9	7名	ナイス株式会社
10	1名	株式会社ネクスト
11	1名	株式会社丸嘉
12	2名	日本木材新聞(取材)
13	15名	奈良県桜井市木材協同組合青年部

主な日本よりの来展者

会社名	役職	氏名	住所
影山木材株式会社	代表取締役会長	影山弥太郎	静岡市葵区若松町103
東京大学 大学院農業生命研究科	教授	安藤直人	東京都文京区弥生1-1-1
名城大学 都市情報学部	教授	雑賀憲彦	岐阜県力荷し虹ヶ丘4-3-3
飯田工業株式会社	代表取締役社長	井本希孝	愛知県小牧市大字村中153
株式会社谷川建設	建設部次長	菊原信一	北九州市八幡区力丸町12-6
旭化成建材株式会社	海外事業室 室長	川口正義	東京都千代田区神田神保町1-105
株式会社サイドサポートサービス	代表取締役	市原弘之	東京都港区浜松町1-1-10 陽明ビル3F
株式会社サイドサポートサービス	代表取締役	中原弘之	東京都港区浜松町1-1-10 陽明ビル3F
協業組合ジャパンウッド	副理事長	滝浪龍司	静岡市葵区内牧855
株式会社 マルホン	プロダクトマネージャー	白井恭一	静岡県浜松市浜北区永島1295
静和木産株式会社	代表取締役	見城悦昭	静岡市葵区辰起町6-1
ナイス株式会社	代表取締役	平田恒一郎	横浜市鶴見区鶴見中央4丁目33番1号
株式会社互惠	代表取締役専務	中肖社	奈良県生駒市小町町1348-1
宮崎県木材利用技術センター	副所長	飯村 豊	都城市花繰町21号2番
大淀開発株式会社	代表取締役	堀之内芳久	都城市上長飯町5427番地1
大淀開発株式会社	代表取締役	白 惠瑠	都城市上長飯町5427番地1
クボタ松下電工外装株式会社	海外市場開発部	佐藤一雄	大阪市中央区城見1丁目2番27号
株式会社 アイエムケー	代表取締役	伊佐地正克	岐阜県関市豊岡町2-4-21
株式会社 ムラコシ精工	代表取締役	村越政雄	小金井市緑町5-6-35
株式会社 住まいず	韓国支社長	朴 右烈	鹿児島県霧島市集人町内山田1-5-7

主な韓国よりの来展者

企業名	名刺	氏名	住所
HONG YL CORPORARION	課長	KOO KYUNG CHUNG	1355-3, seochodong, seocha-ku, SEOUL
TAEYOUNG E&C		LEE JANG HEE	10-2 yeouido-dong, yeoungdongpo-gu, SEOUL
TAESUNG	部長	C.K. KIM	5F1, hongjin bldg. 134 ohkum-dong, songpa-ku, SEOUL
SUNGHO		LEE JU HUN	Songpa-ku, SEOUL
Hill Tech Co.,Ltd	代表理事	ジョン・ホンソク	釜山市
acro builders	所長	J.H. SEO	Seacho-ku, SEOUL
NEW ENGINEERING CONSULTANTS INC	所長	Kang Suk Hee	5F, saehan bd, 557-16, shinsa-dong, kangnam-ku, SEOUL
O.S STRUCTURAL ENGINEERING CO.,LTD	代表理事	HAN JIN WON	3F O.S B/D, 1556-13, samsan-dong, nam-gu, Ulsan
Chungock company	代表	LEE CHANG HEE	960-19, ilsan-dong, ilsanseou-gu, gyonggi-si, Gyonggi
STUGA	代表理事	キム・ガッボン	gangnam-gu, SEOUL
チャムソル	代表	イ・ユサン	Daejun-si
建国大学木造住宅研究所	講師	WON SANG MOOK	cyungju-si, Cyungbuk-do
SEO-WON	理事	KIM JONG WON	3F, suksan B/D, 272-5, yangjae-dong, secho-gu, SEOUL
JANGSU LEISURE co.,Ltd		CHOI KI SUNG	955, gungyang-ri, gyeonam-myeon, jangsu-gun, Jeollabuk-do
ソウル大学山林科学部木構造研究室		PANG SUNG JUN	
KOIVO	President	PARK KYUNG SOON	suite101, seokchon-dong, 246-16, songpa-gu, SEOUL
THE NAMOO SHINMOON		YUN YOUNG JIN	61-3, yeouido-dong, yeoungdeungpo-gu, SEOUL
FIDES Development Co Ltd		H.J. WON	142-43, samsung-dong, kangnam-gu, SEOUL
Timber Ko		ウィ・ジェソン	Gyonggi-do
RUHA	代表	キム・ヒョンユン	Gyonggi-do
MARUHON INC.	Manager	Goh ST Ken	静岡県浜松市浜北区永島1295
MARUHON INC.	Product Manager	Kyoichi Usui	静岡県浜松市浜北区永島1295
JEONWOO PUBLISHING CO.	EDITPRIAL SEC.	HAN SONG-LE	275-1 Sungsan-Dong,Mapo-Ku Seoul

設営(2月17日～19日)

～オープニング(2月20日)

03 日本パビリオンの運営

施工会社excom社により18日朝にパビリオン基礎工事を終了しました。(ダイシンインテリア式田代表が立ち会い確認しました)

18日朝より夕方にかけて共有スペースのプレカットモデルモニュメントの施工を行いました。マルキ開発及び韓国谷川建設による施工で18日夕方完成しました。

19日夕方にかけて出展者が各ブースの設営・装飾を行いました。19日夕方には出展者ブース及び共有スペースの大半の工事が終了し、開催準備がと整いました。

韓国政界・業界の来賓のテープカットでフェアは盛大に開始されました。



開始と同時に、日韓の来展者が日本パビリオンに立ち寄られ、展示商談が開始されました。

スタートから人出が絶えることないパビリオンとなりました。



会期中

朝礼(毎日)

9:40より全員参加で実施しました。その日の予定及び連絡事項等を通達しました。



キョンヒャンハウジングフェアオフィシャル行事に参加及び事務局との調整を行いました。

オープニングセレモニー・オフシャルセミナー・オフィシャル広報



案内カウンターでの日本パビリオン来展者(韓国及び日本より)の対応をいたしました。今年度は大変来展者が多く客足が絶えないパビリオンになりました。来展者は別途報告します。



業務の中心は、商談設定運営でした。円滑な一般商談・確実なマッチング商談会を実施しました。400回を越える商談をパビリオン内で実施しました。セミナー(22日開催)を含め会期中毎日、関連イベントを実施しました。



セミナー(2月22日)

現地韓国で募集した聴講者を中心に180名が参加しました。今回は韓国木造住宅建設を推進する韓国木造住宅協会・韓国木造技術協会及び在韓国日本大使館講演のもと、林野庁・キョンヒャンハウジングフェア事務局主催の公式セミナーとして実施しました。李ソウル大学教授の基調講演に引き続き、在来工法による韓国式木造住宅建設及び一般住宅建設が進む事例も交え行いました。日本の木を使った住空間の素晴らしさも韓国の人々にアピールしました。

Time	構成	Lap
11:00	進行スタッフ会場入り 会場設営確認 テクニカルチェック	
12:00	受付開始	
12:30	ST.BY/MC、挨拶登壇者、講演講師・登壇者	
12:50	■開会予告 ■諸注意事項 ■資料確認	
13:00	■開会 ■司会者自己紹介 公式セミナーのコンセプトとプログラム紹介	
13:05	MC ■主催者代表挨拶 在韓国日本大使館 参事官松本隆平氏	5分
13:10	MC ■後援団体代表挨拶 韓国木造住宅協会 会長 イ・ジョンヒョン氏	5分
13:15	MC ■基調講演/「工業化木造建築」/ソウル大学校 教授 李 銓濟氏	40分
13:55	MC ■事例紹介「韓国における工業化木造住宅」 韓国木造住宅協会副会長 チェ・ウオン Chol 氏	20分
14:05	質疑応答	10分
14:15	MC ■講演/「日本のプレカット工法と木造リインテリアの魅力」 ワイズコミュニケーションズ・コーポレートリミティッド代表・一級建築士 吉田正治氏	30分
14:45	MC 質疑応答	10分
14:55	休憩	15分
15:10	MC ■講演「韓国木造建築の現況」 韓国木造建築技術協会名誉会長 金 進熙氏	30分
15:40	MC 事例紹介「日本の木材と技術を導入した韓国木造建築施工例」 韓国木造建築技術協会 副会長 ナム・ヨンホ氏	20分
16:00	MC 質疑応答	10分
16:10	閉会	

セミナー開催概要

2/22 セミナー参加者

	名刺	名簿	直接入場	計
韓国	37	71	12	120
日本	28	9	17	54
合計	65	80	29	174

セミナー開会挨拶

(在韓国日本大使館
松本参事官)
(韓国木造建築協会
李会長)



基調講演(ソウル大学 李教授)

講演-2(韓国木造建築技術協会 金会長)

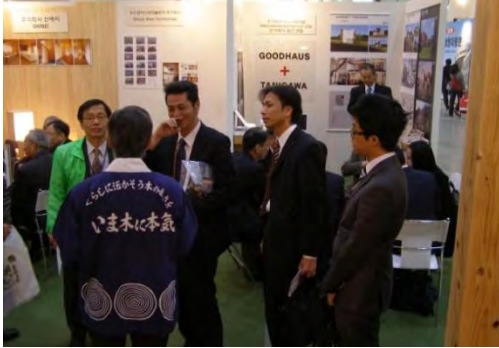


質疑応答

講演-1(ワイズコミュニケーションズ 吉田社長)

商談会(2月20日~24日)

(一般商談の様子)静岡県ブースの商談の様子です。構造材業者と内装材業者が協調して出展し効果を高めました。



(マッチング商談会の様子)ヒノキ(吉野・木曾等)の良材を求めて来展のバイヤーとの商談風景。(韓国ではヒノキが特に人気でヒノキ風呂・羽目板等の材料としての商談も活発)



(マッチング商談会の様子)肥後木材による熊本産集成材の商談風景。(ソリッド材のみならず強度・歩留まりアップの集成材にも興味が多い)



05 商談会 実施報告

一般商談とマッチング商談を行い、418回の商談報告がありました。

全体集計	商談総合計					計	%
	20日	21日	22日	23日	24日		
来展商談	55	111	54	48	36	304	73%
アポイント型商談	26	38	10	24	16	114	27%
成約	0	0	2	5	6	13	3%
成約見込	4	8	3	5	14	34	8%
代理店申込	0	2	0	0	0	2	0%

一般商談のフォローは参加者にて行って頂き、マッチング商談会のフォローアップを事務局にて行います。(招聘バイヤーからの報告で一部生産者との報告とギャップがあります=捉え方の違い及び当日アンケート記入時点では結果が不明等が原因)

会期中セミナーの開催日(22日)以外の4日間にわたりマッチング商談会を実施しました。事務局にて商談結果を把握したのが、下記70回の結果です。

結果回収は下記70回のマッチング商談会で成約:4件・継続商談:39件・可能性なし:27件の報告でした。成約及び継続商談の43件についてフォローいたします。

2月20日～2月21日の前半開催の結果です。韓国木造建築協会経由で招聘にバイヤーが中心でした。

積極商談になった業者は

- ・ハンジプデザインが大型施設の木部材検討の為、継続商談が多くなっています。韓国でもエコ対策が計られており、公共施設に木部材の活用が奨励されています。
- ・韓国ヒノキ建築はヒノキ風呂の製造販売会社で韓国内で製造販売しています。良質(水周り及びヒノキの香りが韓国で人気の為)なヒノキを継続的に求めています。
- ・テオン木材は韓国で大手の木材商社です。スギ・ヒノキをルート販売すべく日本から安定的な供給を価格のメリットも含め求め、社長自ら商談をいたしました。

マッチング商談会表

招聘バイヤー=21社

2月20日

5社=15回

参加者=14社

商談テーブル	午前(社名)	業種	10:00~10:25	10:30~10:55	11:00~11:25	11:30~11:55	12:00~12:25	12:30~12:55	13:00~13:25
A	ビョッサン	住宅建設販売		可能性なし COMOREBI(韓) NO-1	可能性なし 山岸工務店	可能性なし 肥後木材(韓) 内装材			
B	SINJUNG	室内建築工事 内外装工事		可能性なし ウッドエナジー 施工:住宅	可能性なし 韓マルキ開発 施工	可能性なし 韓赤井製材所 内装材			
商談テーブル	午後(社名)	業種	13:35~14:05	14:10~14:40	14:45~15:15	15:20~15:50	15:55~16:25	17:00~17:35	13:00~13:30
A	ハンジプデザイン	博物館 美術館設計		継続商談 韓徳田銘木 自然木	可能性なし 吉野銘木製販(韓) 内装材	継続商談 肥後木材(韓) 木造住宅	継続商談 韓赤井製材所 ログハウス		
B	韓国木炭研究所	室内建築工事 内外装工事		継続商談 吉野銘木製販(韓) 内装材	可能性なし 韓赤井製材所 プレカット				
C	韓国檜建築	檜浴槽		可能性なし 韓新栄 松	継続商談 ウッドワイズテック(韓) ロケット工法	継続商談 韓徳田銘木 原木・松自然木			

2月21日

4社=14回

商談テーブル	社名	業種	10:00~10:25	10:30~10:55	11:00~11:25	11:30~11:55	12:00~12:25	12:30~12:55	13:00~13:25
A	テウォン木材	木資材会社 多様な木材取扱		継続商談 肥後木材(韓) 杉集成材	継続商談 吉野銘木製販(韓) 原木・角材	継続商談 ウッドエナジー 杉集成材・ハイブリッド(集成材)	継続商談 韓徳田銘木 自然木		
B	パインフォレスト	木造住宅建工 販売		可能性なし 夢木香(韓)	可能性なし ウッドワイズテック(韓)	可能性なし 肥後木材(韓)			
C	ノブルハウス	木造住宅施工 販売		可能性なし 韓マルキ開発	継続商談 韓赤井製材所 ログ・木造住宅	継続商談 韓新栄 木造住宅			
商談テーブル	社名	業種	13:00~13:30	14:10~14:40	14:45~15:15	15:20~15:50	15:55~16:25	16:30~16:50	17:00~17:35
A	ノブルハウス	木造住宅施工 販売		商談成立 肥後木材(韓) 木材	可能性なし 山岸工務店 施工・内装材	商談成立 吉野銘木製販(韓) 松			

05 商談会 実施報告

2月23日～2月24日の後半開催の結果です。韓国木造技術建築協会経由で招聘にバイヤーが中心でした。積極商談になった業者は PLRIUM(学校設計)・ソウ総合設計(地下鉄・学校設計)・ミレセウム(文化施設設計)・テオン建設(アパートマンション建設)でした。いずれも今迄韓国への輸出を目指す人が住宅建設中心の考えでありあまり接触していなかったルートです。韓国に限らず、中国等でもコストの問題はありますが、大型施設にエコ及び快適性の観点から木部材の検討も盛んになっています。出展者もこれを察知し、宮崎・熊本・福島の出展ブースに大断面部材を展示し、対応能力をアピールしたのが後押ししたと思われます。このルートは特に息の長いフォローアップが必要ですが、物件が決まれば大きな金額(何千万～億単位)の成約になると思います。今までは単に原木輸出の観点でしたが、今回の商談は大断面部材を中心とした大型構造材(集成材仕様)への対応能力が必要で設計対応能力のある会社が継続商談となりました。

2月23日 7社=23回

NO	社名	業種	10:00~10:25	10:30~10:55 1	11:00~11:25 2	11:30~11:55 3	12:00~12:25 4	12:30~12:55 5	13:00~13:25
A	HANBEK R&C (技術協会会長)	リゾート開発 建設と運営		継続商談 吉野銘木製販(株) 桧・杉内装材	継続商談 赤井製材・夢木香 構造木・ログハウス	継続商談 肥後木材 内装材			
A	HANBEK R&C (技術協会会長)	リゾート開発 建設と運営		継続商談 ウトウイステク(株) ロケット工法	可能性なし 韓マルキ開発	継続商談 COMOREBI(株) 内装材	商談成立	鳥取県木連 内装材	
B	PLRIM AD.PRO	学校設計・ 大型木設計		可能性なし 韓赤井製材所 ログハウス	継続商談 肥後木材(株) 資材	継続商談 吉野銘木製販(株) 内装材	継続商談	継続商談 ウトウイステク(株) ロケット工法	
	韓国木造建築協会	住宅建設		可能性なし 鳥取県木連					
C	GL STRUCTURE	大型木造施工・ 木造住宅施工		継続商談 肥後木材(株) 杉	可能性なし 韓マルキ開発 施工	可能性なし ウトウイステク(株) (株) 施工	継続商談	鳥取県木連 家具	
NO	社名	業種	13:00~13:30 1	14:10~14:40 3	14:45~15:15 4	15:20~15:50 5	15:55~16:25 6	16:30~16:50 7	17:00~17:35 8
A	ヨンリム木材	木資材会社・多種 類の木材を取扱い		継続商談 COMOREBI(株)	可能性なし ウッドエナジー 施工・住宅	継続商談 韓新栄			
B	ジュンペLS	親環境の資材を使用 した施工		継続商談 ウッドエナジー 集成材	継続商談 COMOREBI(株) 内装材	可能性なし 韓マルキ開発	可能性なし	吉野銘木製販(株)	
C	チョンオク	木造住宅施工会社		可能性なし ウッドエナジー 施工・住宅	可能性なし 山岸工務店 施工・住宅	可能性なし 韓マルキ開発 施工・住宅			

2月24日 5社=13回

NO	社名	業種	10:00~10:25	10:30~10:55 1	11:00~11:25 2	11:30~11:55 3	12:00~12:25 4	12:30~12:55 5	13:00~13:25
A	ソウ総合設計	地下鉄設計 学校設計		継続商談 肥後木材(株) 杉	継続商談 韓徳田銘木 自然木	継続商談 吉野銘木製販(株) 桧内装材			
B	ギラン建築設計事務所	学校建物設計		継続商談 肥後木材(株)	継続商談 韓赤井製材所 ログ	可能性なし COMOREBI(株)			
C	ジョンリム建築設計事務所	日本のニッケンと 同級の会社		商談成立 吉野銘木製販(株) 桧内装材					
NO	社名	業種	13:00~13:30 1	14:10~14:40 3	14:45~15:15 4	15:20~15:50 5	15:55~16:25 6	16:30~16:50 7	17:00~17:35 8
A	ミレセウム	博物館・美術館の 文化施設 設計デザイン		継続商談 COMOREBI(株) 内装材	継続商談 韓徳田銘木 銘木	継続商談 肥後木材(株) 家具木材			
B	テウォン建設	ゼネコン		継続商談 肥後木材(株) 内装材	継続商談 ウッドエナジー 集成材	継続商談 吉野銘木製販(株) 内装材			
C	ネウ工建築	木造建築・ ログハウス 設計施工		継続商談 夢木香(株) ログハウス	継続商談 山岸工務店 技術提携	可能性なし 韓マルキ開発			

韓国木造建築協会(住宅施工店ルート)のフォローアップ。

ノブルハウスが数多くの出展者と商談し今後の継続商談が多数あり、フォローします。GLストラクチャーは大型住宅建設で肥後木材・鳥取県業者との今後をフォローします。チョンオクはランバー宮崎と既に連携し住宅建設中で、他の業者とは挨拶のみの結果となりました。

韓国木造建築技術協会(住宅販売ルート・住宅設計士ルート)のフォローアップ。

ビョッサン、SINJUNGの2社は可能性なし。HANBEK R&C(技術協会会長)は吉野銘木・赤井製材所・肥後木材・ウッドファーステクノロジーと継続商談となりました。鳥取県木連とは現地を訪問し、今後の取引に関して調査開始となりました。

大型物件・公共施設物件(ゼネコン・設計事務所・住宅設計士ルート)フォローアップ。

ソンウ総合設計・ギヨン設計事務所・ジョンリム設計事務所等は大変関心が高く、サンプルですがオーダーもありました。韓国での住宅のみならず、公共施設・大型物件にも韓国でのエコ優遇策もあり、国産材が検討の対象になっています。唯一ゼネコンで参加のテウオン建設も関心が高く、物件獲得に向け、このルートは豊田TECHがフォローします。

その他木材関連商社との商談後のフォローアップ

韓国檜建築(風呂)ヨンリム木材は既に出展者の中に代理店契約を結んで臨まれます。韓国での輸入元として機能する可能性があり、フォローします。

招聘の韓国バイヤーリスト(全21社)

★住宅建設(6社)
 ・ Sinjung Co., Ltd
 室内建築工事、木工事 / 内・外装工事 / 木床工事
 ・ BuckSan Co., Ltd.
 木造住宅 / Passive House
 コンサルティングおよび施工
 ・ GL Structure Co., Ltd.
 大型木造施工 / 木造住宅施工
 ・ 社団法人韓国木造建築技術協会
 韓国・国土海洋部傘下に登録された
 唯一の木造建築関連協会
 ・ ネウエ建築
 施行、施工 / 木造建築、ログハウスペンション、
 インテリア施工
 ・ パインフォレスト
 木造住宅の施工

★設計事務所(6社)
 ・ ハンジプデザイン
 博物館および美術館の設計施工
 ・ ミレセウム
 博物館、美術館等の文化施設の設計デザイン
 ・ ジョンリム建築設計事務所
 日本のNITKEN 設計と同級会社
 ・ ソンウ総合設計事務所
 地下鉄設計と学校建物の設計
 ・ ギヨン建築設計事務所
 学校建物の設計
 ・ Purim ADpro Co., Ltd.
 学校設計専門、大型木構造設計

★ゼネコン(3社)
 ・ テヨン建設
 韓国で第5位の住宅・アパート建設会社
 ・ KCC建設
 韓国で第11位の住宅・アパー建設会社
 ・ 大宇(デウ)建設
 韓国で第2位の総合建設会社

★デベロッパー(1社)
 ・ Hanbek R&C Co., Ltd.
 施工 / リゾート開発、建設と運営
 木材商社(3社)
 ・ ヨンリム木材
 木資材会社、多種類の木材の取り扱い
 ・ ジュンプELS
 新環境の資材を使用した施工
 ・ テウオン木材
 木資材会社、多種類の木材の取り扱い

★その他(1社)
 ・ 韓国木炭研究所
 木炭製造販売
 ・ 檜建築
 風呂製造販売

海外ナショナルパビリオンの概要

事務局の配慮で、韓国での木造建築のパビリオンが集まるエリアにジャパンパビリオンを設置しました。韓屋(軸組工法)のモデルも3パビリオン隣接し、プレカットモデルモニュメント(JAPAN WOODパビリオン)と相乗効果を高めました。



韓国での木造住宅はカナダのツーバイフォー住宅が圧倒的シェアを誇っています。JAPAN WOODパビリオンと向い合った場所にカナダパビリオンが設置されました。カナダナショナルパビリオンは全体をカナダが運営し、韓国での販売窓口が各ブースに出展する形態で、完全に出展小間は韓国化されていました。開催中、HOTELで交流パーティーも開かれ、業界団体を招待していました。

中国ナショナルパビリオンは完全に石材の展示会場となっており、木は一切ありませんでした。韓国は石資源が豊富で、建築にも多く使われています。木材にニュージーランド等は材料として輸入されており、住宅・木材製品輸入は北米が強く、価格・流通の日本の競争者です。



運営のコンセプト

(木造住宅の普及を通して韓国での国産材輸出拡大を図る＝2つの業界団体との連携)

日本の軸組工法住宅及び国産材内装材の魅力を訴求する事を通じ、日本国産材のスギ・ヒノキを韓国へ輸出拡大する支援をする事で臨みました。韓国木造建築協会・韓国木造技術協会の2団体を韓国での後援団体として連携し、運営しました。

市場

(韓国内での日本国産材の競争力)

韓国では95%を輸入に頼っており、住宅・住宅部材市場では北米産を中心に普及している。昨年に引き続き運営をさせて頂きましたが、日本国産材への関心の高まりを強く感じました。ツーバーフォー住宅との20%の価格差を乗り越え在来軸組工法住宅の建設も増大し、韓屋建設にもその技術が導入されています。又、木質材料としてのスギ・ヒノキの需要もあり、有望な市場です。

現状

(日本国産材は韓国の人々に受け入れられるか)

日本より韓国への木材輸出も速報値で大幅増加中です。今回は昨年に比較し商談が具体的に変わったと実感しました。展示商談会での連続パビリオン設置広報で、ダイレクトに情報が伝わったのが一因していると思われます。日本の国産材の品質面には競合のカナダ・アメリカ以上ですが、供給体制・価格面の課題があります。一般顧客にとっては「木の香」が最大の差別化ポイントでした。

運営での感想

(韓国進出体制の経験値等の違いで3つの参加者タイプを感じました＝より緊密なフォローが必要)

出展者には

- ①韓国に進出済みで販売体制も整っており、施主及び一般顧客・関係者へのより一層のアピールを目指している参加者。
- ②展示会を契機に販売窓口(代理店等)の設定を目指し、本格的に韓国進出を目指す参加者。
- ③韓国への進出を直接又は代理店経由を問わず、糸口を掴もうとする参加者。

以上の3つのタイプがありました。

タイプに合わせて、今後のフォローが必要です。

課題

(継続商談の成約に向けて＝カナダ・アメリカとの競争の中で)

韓国では年間12,000戸の木造戸建住宅が建築され、その流れは確かなものと感じました。後援の韓国2団体とは韓国内での競合など多少の問題はあったものの、たくさんの協力を頂きました。又大型施設等へのエコの観点からの木部材の使用も流れとして明確になってきました。市場は確かに大きく・確実なものになっていると思われます。出展者が主体となって韓国での日本国産材住宅・製品を普及するには、出展者のみならず、自治体・業界団体も連携の上での推進が課題と感じます。

要望 (今後の韓国での国産材輸出促進のご支援について)

北米諸国は、国を挙げての輸出振興策がなされています。(韓国は自給率が低く、木材市場として実績もあり、今後も魅力ある市場の為)都市部での集合住宅での内装の木質化・郊外での戸建住宅の拡大が見込め、継続的な輸出促進事業をお願いします。